

資料 東日本大震災

2011（平成23）年3月11日、宮城県の太平洋沖（海いき）を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。宮城県では、この地震によりたくさんの方の道路や建物などがこわれ、大きな被害を受けました。また、東北地方の太平洋沿岸部は予想をはるかにこえた大きな津波におそわれ、多くのとうとい命がうばわれました。わたしたちのふるさとをおそったこの地震や津波の被害を「東日本大震災」といいます。わたしたちは、このできごとを決してわすれず、次の世代の人たちに語り伝えていかなければなりません。

●地震の記録

①発生日時

2011（平成23）年3月11日（金）午後2時46分

②発生場所

宮城県牡鹿半島の東南東約130km付近 三陸沖 深さ24km

③地震の力の大きさ

マグニチュード9.0 日本の周りで起きた地震では、観測を始めて最大の大きさ

④宮城県内のゆれ（各市町村の最大震度）

震度7（栗原市）

震度6強（石巻市、登米市、大崎市、川崎町、仙台市、名取市、美里町、東松島市、塩竈市、涌谷町、大衡村、蔵王町、山元町）

震度6弱（岩沼市、気仙沼市、角田市、松島町、白石市、利府町、大郷町、大河原町、南三陸町、富谷町、亶理町、大和町）

震度5強（加美町、色麻町、村田町、柴田町、丸森町、七ヶ浜町、多賀城市、七ヶ宿町）

記録なし（女川町）

出典：平成23年3月 気象庁「地震・火山月報」

宮城県の被災状況（令和7年9月30日現在）*宮城県復興・危機管理部防災推進課

①人の被害

・死者 10,571人
 ・行方不明者 1,215人
 ・負傷者 4,145人

②建物の被害

・全壊 83,005棟
 ・半壊 155,131棟
 ・一部破損 224,202棟

●宮城県の自然災害年表

年	種別	できごと	Mはマグニチュード
869（貞観11）年7月13日	地震	大地震（M8.3）津波でおよそ1,000人がなくなる。	
1611（慶長16）年12月2日	地震	地震（M8.1）、大津波で1,783人がなくなる。	
1623（元和9）年5月15日	噴火	蔵王山噴火。県内各地に火山灰が降る。	
1678（延宝6）年10月2日	地震	地震（M7.5）白石城の一部がこわれる。	
1721（享保6）年7月24～25日	水害	大水のため、迫川の堤防がこわれる。	
1793（寛政5）年2月17日	地震	地震（M8.0～8.4）	
1835（天保6）年7月20日	地震	地震（M7.0）津波による死傷者多数。	
1896（明治29）年6月15日	地震	地震（M8.2）「明治三陸地震津波」死傷者4,693人	
1910（明治43）年8月6～16日	水害	大洪水により、迫川、北上川、阿武隈川が氾らんする。死者・行方不明者360人	
1933（昭和8）年3月3日	地震	地震（M8.1）大津波「昭和三陸地震」。死者・行方不明者308人	
1947（昭和22）年9月14～15日	水害	カスリン台風 北上川、阿武隈川などが氾らんする。死者・行方不明者30人	
1948（昭和23）年9月16～17日	水害	アイオン台風 仙北地方で大洪水。死者・行方不明者44人	
1960（昭和35）年5月24日	津波	千り地震により牡鹿地域で最大5.6メートルの津波。死者・行方不明者53人	
1962（昭和37）年4月30日	地震	地震（M6.5）「宮城県北部地震」。	
1978（昭和53）年6月12日	地震	地震（M7.4）「宮城県沖地震」塀や建物がたおれる。死者27人	
1986（昭和61）年8月4～5日	水害	台風10号「8.5水害」阿武隈川、吉田川などの堤防がこわれる。死傷者17人	
2003（平成15）年7月26日	地震	地震（最大M6.4）宮城県北部を震源とする震度6弱の地震が1日3回発生。重軽傷者675人、全半壊5,085棟	
2008（平成20）年6月14日	地震	地震（M7.2）「岩手・宮城内陸地震」栗原市を中心に大きな被害。死者・行方不明者18人	
2011（平成23）年3月11日	地震	地震（M9.0）「東北地方太平洋沖地震」東北地方太平洋側沿岸地域を大津波が襲う。3月12日 福島第一原子力発電所で爆発事故発生。	
2019（令和元）年10月12日～13日	水害	台風19号により阿武隈水系が決壊。丸森427.0mm、同筆甫地区594.5mm	
2022（令和4）年3月16日	地震	地震（M7.4）「福島県沖地震」。	

出典：「宮城県災害年表」（マグニチュードは「最新版 日本被害地震総覧」および気象庁ホームページによる）

あなたの住んでいる地いきや学校では、いつ、どのような災害があったのでしょうか。地いきの記録を調べたり、学校の先生方に聞いたりしてみましよう。